

「授業開き」は規律から？楽しさから？

日田市立高瀬小学校 岩崎 敬

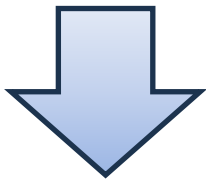
私は高瀬小学校で全学年・全クラスの体育を担当しているため、新年度の最初の授業であっても、子どもたちはすでに体育の授業規律（授業の約束）を理解しています。そのため、あらためて細かく教える必要はありません。

授業開きが必要になるのは、唯一、入学したばかりの１年生だけです。

今回は、その１年生に対して私が行った授業開きの進め方についてお伝えします。

＜これまでのよくやっていた体育の授業開き＞

- ① 体育着の着替え方と脱いだ服のたたみ方
- ② 廊下での並び方
- ③ 移動の仕方
- ④ 水筒の置き場確認
- ⑤ 自分の並ぶ場所の確認
- ⑥ 座り方
- ⑦ 準備運動の行い方
- ⑧ 話の聞き方
- ⑨
- ⑩



安全を守り、授業をスムーズに進めるために大切なことですが、子どもたちにとって守ることが多すぎて、窮屈に感じてしまわないかと考えています。

また、授業開きで一方的に言いたいことを言って、次の時間に、子どもたちが少しでもできていなかったら、子どもに「この前言ったでしょ」「話を聞いていなかったの？」と指導していたことがありました。

反省をもとに、最初の授業開きで、教科の持つ楽しさを最大限味わわせ、授業規律（約束事）は後から一つずつ教えていくことにしてみました。

最初の授業開きで、子どもたちに求めたのはこれぐらい。

すてーじ（まえ）

せんせい

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

じぶんのなまえの ばんごうをさがして
ばんごうのところに すわろう



名前と座る場所の確認

①座り方ゲーム



②ダンスの達人

子どもたちが喜びそうな動画を、プロジェクターに映し出す。身体が自然に動き出す。ノリが良かったので、準備した動画をいくつか流す。



指示が通る！
ここまでくればもう一息

③ボールをなげてみよう

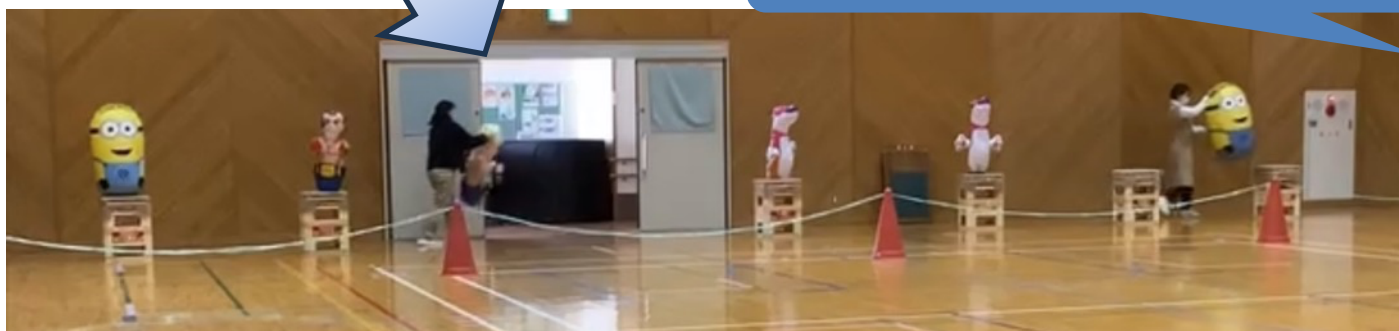
投げる場づくりだけでなく、誰一人取り残さず、みんなが投げたくなる場を与える。



隠しておいたパンチバッグの登場



お願いもしていないのに
気づいたら、食い入るように話を聞いていた！





全員がボールを取りに来ている
ではないか！



しかも、猛ダッシュ！



紐より前に行って投げという子はいない！
説明をよく聞けていた証拠！



ボールを取りに走って戻っているということは、**必然的な学び**になっている証



**「体育は楽しい」と言って体育館を後にした一年生
授業開きの目的はほぼ達成できました**

今回の授業開きは、先に体育の楽しさを
経験させ、信頼関係を作りながら、一つ
ずつ授業規律を確認していこうという
やり方で行ないました。このような
ものは児童の実態によって変わっ
てくることもありますが、今の
ところ、子どもたちには合っ
ていたかなと感じています。

**授業規律
(約束事)**

信頼関係

楽しさの共有